

選考及び被表彰企業の概要

1 選考について

被表彰企業は、地方公営企業法を適用している地方公営企業のうち、自薦又は他薦された地方公営企業について、以下の観点を中心に総合的に判断し決定したものの。

- ① 経営の健全性が確保されているか
 - ・ 6か年(実績5か年、直近見込1か年)以上継続して、経常利益を計上、資金不足額なし、累積欠損金なし
- ② 他の地方公営企業の模範となる取組が行われているか
 - ・ 計画的経営、ストックマネジメント、企業債残高管理、料金適正化、情報公開、広域化、民間的経営手法の導入、人材育成 等

2 被表彰企業について

被表彰企業名	概要
埼玉県企業局 (水道事業) 〔自薦〕	<ul style="list-style-type: none"> ・ 719万人に給水する府県営では最大級の水道事業体(職員数346名)。 ・ 大久保浄水場のPFI事業や、ストックマネジメント実践等、効率化・健全化に向けた総合的な取組を実施。
長門川水道企業団(千葉県) (水道事業) 〔自薦〕	<ul style="list-style-type: none"> ・ 千葉県の1市1町2万人に給水する一部事務組合(職員8名)。 ・ DBO型の民間委託による業務の効率化を先駆的に実施。
奈良県水道局 (水道事業) 〔自薦〕	<ul style="list-style-type: none"> ・ 129万人に給水する水道事業体(職員76名)。 ・ 県が主導して、市町村の水道と垂直・水平の広域的な連携を県内3エリアの特性を活かして推進する「奈良モデル」を確立。
山口県周南市上下水道局 (水道事業) 〔山口県推薦〕	<ul style="list-style-type: none"> ・ 12万人に給水する水道事業体(職員66名)。 ・ 近隣自治体と施設の共同管理等で協働する他、計画的な経営を実施。
鹿児島県和泊町 (水道事業) 〔自薦〕	<ul style="list-style-type: none"> ・ 7千人に給水する水道事業体(職員5名)。 ・ 離島で人口規模の小さい地域にあっても、技術者の育成や適時の改修工事等、事業の持続可能性を高める取組を実施。
北九州市上下水道局 (工業用水道事業) 〔自薦〕	<ul style="list-style-type: none"> ・ 65事業所に給水する工業用水道事業体(職員26名)。 ・ 施設の共有化など多面的に市の水道事業と提携し、財務状態を健全化。また、利用者等との意見交換を実施し、需要拡大に向けた料金設定等を実施。
宮崎県企業局 (電気事業) 〔公営電気事業経営者会議推薦〕	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公営電気事業体として全国3番目の規模の合計最大出力15万8千kW余の発電能力を有する(職員117名)。 ・ 計画的な経営を実践する他、発電所の集中監視制御システムの先駆的な導入等により業務効率化を実施。
千葉県習志野市企業局 (ガス事業) 〔日本ガス協会推薦〕	<ul style="list-style-type: none"> ・ 7.5万戸にガスを供給する事業体(職員59名)。 ・ 計画的な経年管更新等により、施設の安全性を高めつつコスト削減を図っている他、市の他事業との連携等により業務効率化を実施。

※表中の計数は平成26年3月末現在のものです。